

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

アザシチジン施行時の制吐薬変更に伴う悪心・嘔吐発現状況に関する調査

1 研究の対象

2017 年 3 月から 2025 年 12 月の期間にアザシチジン(AZA)を施行した患者

2 研究目的

当院では 2022 年 9 月より、AZA 施行時の制吐療法をグラニセトロン 3mg 静注から 1mg 内服へ変更した。AZA 施行前の制吐療法としてグラニセトロン注 3mg を投与された群(静注群)と、グラニセトロン錠 1mg を投与された群(内服群)に分類し、化学療法誘発性悪心・嘔吐(CINV)の発現状況を比較することで、本変更の臨床的妥当性を評価することを目的とした研究を実施いたします。

3 研究に用いる試料・情報の種類

試料:なし

診療情報:診断名、年齢、性別、身体所見、検査所見(血液検査等)、使用薬剤等

4 研究組織

当院単独での研究です

5 情報の提供先・提供方法

上記診療情報等を他施設に提供しません。

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院（☎:代表 011-261-5331 内線 2131）

研究責任者:薬剤部 若松 遼介

問い合わせ担当者:同上